

令和7年度前学期 社会人公開授業

科目名	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）
開設学校名	岐阜大学
講師	工学部 教授 大谷 具幸(おおたに ともゆき), 教授 神谷 浩二 (かみや こうじ) 助教 吉村 英人 (よしむら ひでと)
初回予定日	2025年4月15日(火)
授業時間	毎週火曜日 4時限目 14時45分～16時15分 (全15回)
主会場	岐阜大学柳戸キャンパス 全学共通教育講義棟 104番教室
聴講方法	対面授業
科目内容	<p>岐阜県には、日本の縮図と呼ぶべき地質や活断層、水環境がある。地質では、20億年前の岩石、日本最古の化石があり、種類も多様である。活断層では、1891年濃尾地震のときに動いた根尾谷断層が世界に紹介され、その後の地震の理解に大きく貢献した。水環境では、清流長良川などの源流から河口までがあり、また地下水に恵まれた地域でもある。これらの豊かな自然について理解を深めるとともに、ふだんは意識をすることの少ない地質や活断層、水環境について知ることにより私たちの身近に潜んでいる問題点を学ぶことが、本授業のねらいである。</p> <p>また、講義で紹介する複数の博物館の中から、いずれか1つを見学し、その内容をレポートにまとめて報告することにより、自らレポートのテーマを設定し、自ら学び、自らその内容をとりまとめる、といった能動的な学習を行う。これにより、主体的に学ぶ能力を身につけることを目指す。</p>
注意事項	<p>講義は全11回であり、残りは博物館実習を行う。見学する経費と保険は自己負担。高校生は受講できません。</p> <p>【参考文献】みのひだ地質99選／小井土 由光 岐阜新聞社 2011 978-4877971670 ひだ・みの活断層を訪ねて／岐阜県活断層研究会 岐阜新聞社 2008 978-4877971267 濃尾平野の地盤—沖積層を中心に（ジオテクノート）／地盤工学会「濃尾平野の地盤—沖積層を中心に」編集委員会 地盤工学会 2006 978-4886442154 学年暦より5月2日（金）は本講義があります。</p>

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	4月15日	はじめに（担当：大谷）
第2回	4月22日	地質：岐阜県は日本列島の縮図－20億年前の石ころから最近の地層まで（担当：大谷）
第3回	5月2日(金)	活断層：1891年濃尾地震と根尾谷断層－そのとき何が起きたのか（担当：大谷）
第4回	5月13日	地質：活断層と水環境：濃尾平野の形成（担当：大谷）
第5回	5月20日	地質：岐阜に眠る地下資源（担当：大谷）
第6回	5月27日	地質：岐阜の活火山（担当：大谷）
第7回	6月3日	水環境：濃尾平野の地下水と地盤沈下（担当：神谷）
第8回	6月10日	水環境：岐阜県における地下水の役割（担当：神谷）
第9回	6月17日	水環境：木曽川水系における流域の空間構造と特徴（担当：吉村）

裏面ページに続く

第 11 回	7 月 1 日	水環境：木曽川水系における洪水の歴史とその対応策（担当：吉村）
第 12 回	7 月 8 日	水環境：流域内水環境に及ぼす人間活動の影響と制御策（担当：吉村）
第 10 回 第 13 回 第 14 回	(6月 24 日) (7月 15 日) (7月 22 日)	休講 6/24,7/15,7/22 博物館実習（3回分の授業に相当） 教員が提示した複数の自然系博物館の中から、受講生がどれか 1 つを選び、各自で博物館を見学して、その内容をレポートにまとめて報告する
第 15 回	7 月 29 日	総まとめ授業、及び理解度認定